

# 令和4年度鹿児島学習定着度調査結果

令和5年1月17日（火）・18日（水）の両日、全県下の小5，中1，中2の全児童生徒を対象とする，鹿児島学習定着度調査が実施されました。この調査は，1年間の学びの定着度を確認し，生徒個々の学びや，指導法の改善に生かすために，毎年実施されているものです。その結果は，下の表のとおりでした。

（令和5年2月21日現在の速報値）

令和4年度		国語	社会	数学	理科	英語
1年	県	70.4	68.4	70.9	63.2	75.7
	本校	70.7	64.6	72.6	68.1	71.6
2年	県	71.0	55.2	72.5	62.5	67.8
	本校	68.1	57.9	71.0	60.0	67.0

県の平均通過率と比較したところ，昨年度と比較して改善している学年・教科もありました。しかしながらポイント数には差がありますが，半数の教科においては県の平均通過率を下回っており，市の平均通過率と比較しても，ほぼ同様な結果となりました。

また，全ての学年・教科において，「無回答率（回答欄が空欄である割合）」は県の平均や市の平均より高いという結果でした。

今回の調査結果をもとに，各教科部中心で分析を行いました。その結果，どの教科においても「読み取る力・表現する力」，「その際に必要な知識の関連付け（理解力の育成）」が必要であるということが分かりました。

そこで，学校全体としての「共通実践事項の目標」を次のように設定しました。

問題などを読み取る力を育成するとともに，既習の知識を正しく理解し表現の際に関連付けて活用できる力を育成する。

この，目標をもとに，各教科で次のような取組を行ってまいります。

- 読書等で文字を読む習慣をつける。線を引かせるなどの対策を行う。
- 説明問題の意味や前後のつながりに注目させ考えさせる問題に取り組ませる。
- 教科の枠を超えた教科汎用的（横断的）な学力を身につける。
- 資料の読み取りをする際に，何について読み取るのか，使用する語句等を確認して記述するように取り組む。